

関西唐津会ニュース（2021年11月）

コロナ感染は日本では急速に減速してきましたが、しかし欧米では依然として減少せず不安もあります。この差は国民性の違いでしょうか。

しかし関西佐賀県人会や関西唐津会総会は今年も残念ながら中止になりました。来年は終息して3年振りに開催でき、郷里の良さを語り合えることを期待しています。今回はコロナ禍から少しでも気分転換できそうな郷里の情報などご紹介します。

①「唐津くんち」は縮小して開催されました

毎年11/2～4の開催ですが昨年は中止、今年は11/3の御旅所神幸のみ縮小して開催されました。14台の曳山は国の重要無形民俗文化財やユネスコ無形文化遺産に指定されていますが、今年の11/3の雰囲気はインターネットの下記のサイトをご覧ください。1番曳山の赤獅子から14番の七宝丸まで楽しめます。

<https://www.youtube.com/watch?v=f7S8fM5Rww4>


YouTube 動画
唐津くんち 2021 2年



⇒曳山は製作年の順番に並んでおり、現在は JR 唐津駅横の「唐津ふるさと会館アルピノ」の多目的ホールに保管されています。帰省の折にはご覧ください。

1番：刀町/赤獅子（1819年）、2番：中町/青獅子（1824年）、3番：材木町/亀と浦島太郎（1841年）、4番：呉服町/源義経の兜（1844年）、5番：魚屋町/鯛（1845年）、6番：大石町/鳳凰丸（1846年）、7番：新町/飛龍（1846年）、8番：本町/金獅子（1847年）、9番：木綿町/武田信玄の兜（1864年）、10番：平野町/上杉謙信の兜（1869年）、11番：米屋町/酒吞童子と源頼光の兜（1869年）、12番：京町/珠取獅子（1875年）、13番：水主町/鯨（1876年）、14番：江川町/七宝丸（1876年）

② 唐津東高校の母校「耐恒寮」は今年、開校 150 周年の記念の年です

明治4年（1871年）に唐津藩は後に総理大臣になられた高橋是清を招聘し、藩校として洋学校「耐恒寮」を開校。時代が激変する中、明治初期に勇気のある唐津の少年達は、こぞってこの学校に入学。唐津藩校「耐恒寮」に集まった少年達のその後の活躍ぶりは素晴らしく、東京駅の設計などで活躍された日本近代建築の父・辰野金吾、早稲田大学の基礎を築いた天野為之など大きな功績を残した人々が多く出ました。この藩校が現在の唐津東高校・唐津鶴城同窓会の母校になります。歴史の重みを感じますね。

③ 「大阪市中之島中央公会堂」の唐津コーナーは11月で終了しました

前述の建築家：辰野金吾設計の中之島中央公会堂は2018年に設立100周年を迎えました。この機会に唐津工業高校の卒業生が1/100の模型を制作。2020年2月から地下1Fの展示会場に唐津コーナーが設けられ展示されていました。今年の11月にこのコーナーも終了しました。この制作モデルは次はどこに行くのかな----



(投稿者)

関西唐津会 会長

関西佐賀県人会 理事

坂本 順一